

Kyushu Geibun-kan
residency and exhibition program
Chikugo Art Traffic 2016

九州芸文館
芸術文化交流拠点性
発揮事業

筑後アート往来 2016



Repairing 2013, H250×W400×D20cm, kozo photo by Non matsu

UEOKA Hitomi under control 上岡ひとみ展

アーティスト・イン・レジデンス展 [上岡ひとみ(日本) / カム・ミンキョン(韓国)]

2016 12.3[⊕] Sat → 12.25[⊗] Sun 10:00-17:00
※月曜休館 Closed on Mon.

九州芸文館 (福岡県筑後市大字津島1131)
Kyushu Geibun-kan
1131 Tsushima, Chikugo city, Fukuoka, 833-0015 JAPAN
TEL 0942-52-6435 http://www.kyushu-geibun.jp/

入場無料
admission free

主催：九州芸文館芸術文化交流拠点性発揮実行委員会
この事業は、一般財団法人自治体国際化協会により実施されています。



CHIKUGO ART TRAFFIC



BOMB!voyage!
2016
H320×W90×D90cm
koko
photo by Hiroki Tagma

上岡ひとみ UEOKA Hitomi

上岡ひとみは、和紙をつかった彫刻やパフォーマンスをおこなう。伝統的な道具だけでなく自ら製作した道具で和紙を漉き、立体を作る。ベルリンとパリでの4年間の生活により日本人の繊細な感覚を再認識し、作品に反映している。筑後地域での滞在により現地での和紙をはじめとした各種伝統工芸にインスピレーションを得て、新作を制作発表する。

新作のテーマは under control。「私達の日常は遭遇・発見・コントロールの繰り返しだ。最後はコントロールするのか、されるのか」。



CEUX INFORMES
2015
H100×W250cm
koko, photograph



1983 埼玉県出身 ドイツ・ベルリン在住
2007 女子美術大学大学院 立体アート学科 紙・繊維コース 修了
2014-2015 パリ国際アート都市で滞在制作
2012-2016 ベルリンにてフリーランスアーティストとして活動

賞・レジデンス ※抜粋
2016 Amateras international mini paper competition グランプリ (ブルガリア ソフィア)
2014-2015 女子美術大学「パリ賞」受賞 パリ国際芸術都市1年間滞在 (フランス パリ)

個展 ※抜粋
2015 CEUX INFORMES (La Galcante, Paris, France)
2013 MOUNTAIN FROW (Ausland, Berlin, Germany)

グループ展 ※抜粋
2016 Amateras paper art exhibition (Sofia, Bulgaria)
2015 Le papier souffre tout (Cité Universitaire, Paris, France)
2013 NACHT UND NABEL (WEINHORDZ, Berlin, Germany)

http://hitomiueoka.net/

筑後アート往来 2016

アーティスト・イン・レジデンスと若手作家展のプロジェクト「筑後アート往来」、2年目は、公募で選ばれたヨーロッパ滞在歴が長い上岡ひとみと釜山文化財団により推薦されたカム・ミンキョンによる滞在制作を10月から2ヶ月実施。筑後地域の伝統工芸や歴史、風土に触れた滞在のあと12月に新作によるダブル個展を開催します。
さきだつ8月から2ヶ月間釜山文化財団との交換プログラムにより釜山市内ホントアートセンターにて、福岡のアーティスト古賀義浩が滞在制作をおこないました。滞在と展覧会の記録紹介もおこないます。また、2017年2月には美術家5人によるグループ展もおこなわれます。今年度はとくに筑後地域を拠点に活動するアーティストを九州芸文館美術展担当の学芸員が選考いたしました。

スケジュール [順不同・敬称略]

2016年

8月～9月 アーティスト・イン・レジデンス [釜山文化財団との交換プログラム]
ホントアートセンター (韓国 釜山市) にて。アーティスト：古賀 義浩

10月～12月 アーティスト・イン・レジデンス [公募と交換プログラム]
筑後邸 (福岡県筑後市) にて。アーティスト：上岡ひとみ、カム・ミンキョン

12月3日(土)～25日(日) アーティスト・イン・レジデンス展
九州芸文館にて。アーティスト：上岡ひとみ、カム・ミンキョン
※古賀 義浩 ホントアートセンター レジデンス報告パネル展示も予定

2017年

2月4日(土)～26日(日) 5人のアーティストによるグループ展 (仮)
九州芸文館にて。アーティスト：牛島 光太郎、平岡 昌也、古賀 義浩、ヒロム・モリネッティ、浦川 大志

イベント日程 ※いずれも予定、会場は九州芸文館 (予定)

12月3日(土) アーティスト・イン・レジデンス展 オープニングトーク

12月中旬 レジデンスアーティストによるワークショップ (調整中)

2017年2月4日(土) 5人のアーティストによるグループ展 (仮) オープニングイベント

主催
九州芸文館芸術文化交流拠点性発揮実行委員会
(福岡県、筑後市、九州芸文館、筑後市美術協会、筑後市観光協会)
コーディネーター
宮本 初音 (ART BASE 88)
美術家5人によるグループ展 キュレーター
関岡 絵梨花、三満田 巧、長尾 萌佳 (福岡県文化振興課学芸員)
レジデンスコーディネーター
釜山文化財団、シム・ウヒョン (WATAGATA Arts Network)
現場統括
竹下 和輝 (OFFICE POCO FUKU)
制作協力
(一財)八女伝統工芸館、八女手すき和紙資料館、久留米耕 池田耕工房 ほか
広報物デザイン
クルール

Chikugo Art Traffic 2016

Chikugo Art Traffic is an ongoing artist-in-residence and exhibition program at the Kyushu Geibun-kan since 2015. In the autumn 2016, two artists stay in Chikugo city and create new artworks, *undercontrol* by UEOKA Hitomi (Japan) and *Wouldn't it be a blue flower?* by Kam Min kyung (Korea). KOGA Yoshihiro had stayed for two months, August to September, at the Hongti Art Center, Busan, Korea and had a solo exhibition *Water and where there is Water*. It was an artists' exchange program between Hongti Art Center and Kyushu Geibun-kan. In coming February, we will have a group exhibition with five artists, USHIJIMA Koutarou, HIRAOKA Masaya, KOGA Yoshihiro, MOULINETTE Hiromu and URAKAWA Taishi, selected by three curatorial staffs of Kyushu Geibun-kan (Feb. 4 to 26, 2017).

Organizer
Kyushu Geibun-kan Chikugo Art Traffic Executive Committee
Coordinator
MIYAMOTO Hatsune [ART BASE 88]
Curatorial staff of group exhibition with five artists
SEKIOKA Erika, MIMANDA Kou, NAGAO Haruka [Fukuoka Prefecture]
Residence coordinator
BUSAN CULTURAL FOUNDATION,
Sim Woo Hyeon [WATAGATA Arts Network]
Administrator
TAKESHITA Kazuki [OFFICE POCO FUKU]
Cooperation
Yame Traditional Crafts Center, Yame Museum of Handmade Japanese Paper, KURUME KASURI IKEDA KASURI FACTORY and others
Design
couleur



Kyushu Geibun-kan
residency and exhibition program
Chikugo Art Traffic 2016

九州芸文館
芸術文化交流拠点性
発揮事業



visible invisible 2014, 160x130~65.3x53.0cm/ea., oil on canvas

Wouldn't it be a blue flower?
もしかしたら、青い花ではなかったか?
カム・ミンキョン展
Kam Min kyung

アーティスト・イン・レジデンス展 [上岡ひとみ(日本) / カム・ミンキョン(韓国)]

2016 12.3 Sat → 12.25 Sun 10:00-17:00
※月曜休館 Closed on Mon.

九州芸文館 (福岡県筑後市大字津島1131)
Kyushu Geibun-kan
1131 Tsushima, Chikugo city, Fukuoka, 833-0015 JAPAN
TEL 0942-52-6435 http://www.kyushu-geibun.jp/

入場無料
admission free

主催：九州芸文館芸術文化交流拠点性発揮実行委員会
この事業は、一般財団法人自治体国際化協会より実施されています。



'Fluctuation' series
2012-13
22.0x16.0~227.3x181.8cm/ea.
oil on canvas

カム・ミンキョン (甘敏敬) Kam Min kyung

カム・ミンキョンは釜山を拠点に活動するアーティストで、絵画やインスタレーションなどを制作している。韓国内の個展やグループ展、レジデンスの経験があり、国外でのレジデンスは今回が初。釜山文化財団ホントアートセンターからの推薦で筑後市にて滞在制作をおこなう。記憶と記録に関するイメージを描き出そうと試みる。本レジデンスにおいては文章と画像との相関関係に注目する。筑後市を初めて訪れたときに「青い花」を連想したという。筑後の風景と文章が組み合わされた作品を構想中である。



1970 韓国釜山出身、釜山在住
2003 韓国 国立釜山大学校 芸術学部 美術学科 博士修了

個展

2013 「visible in invisible」(アトスペースH, ソウル 韓国)
2013 「basic-basis」(アトスペースsoul, 釜山 韓国)

企画展 ※抜粋

2016 「創作空間フェスティバル (sensible reality)」(ソウル市庁, ソウル 韓国)
2016 「即興と熟成」(ホントアートセンター, 釜山 韓国)
2014 「バミュダにとどまる」(オープンスペースbae, 釜山 韓国)
2014 「ムービングトリエンナーレ」(釜山沿岸旅客ターミナル, 釜山 韓国)

主な所蔵先

韓国国立現代美術館 / 光州市立美術館 / 釜山市立美術館 / ミレロ病院 / (公財) 釜山文化財団
(株) イ・イン / (株) ジンサムガ



'Fluctuation' series
2014
45.5x38.0cm/ea.
oil on c-print

JAPAN

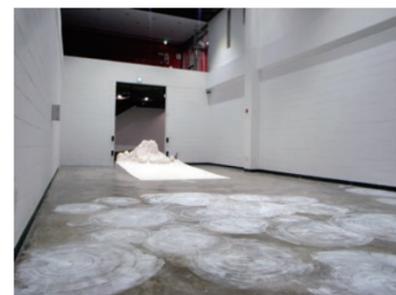
九州芸文館+釜山ホントアートセンター
アーティスト・イン・レジデンス
交換プログラム [日本→韓国]

滞在制作 2016年8月1日(月)~9月30日(日)
作品展 2016年9月29日(木)~10月23日(日)



KOREA

古賀 義浩 KOGA Yoshihiro



2016年ホントアートセンターでの展示風景

古賀義浩は、福岡を拠点に活動するアーティストで、彫刻やインスタレーションを制作している。2016年度「筑後アート往来」で初めての交換レジデンスプログラムのアーティストとして釜山文化財団 ホントアートセンターに2ヶ月滞在して新作を制作した。作品は水の変化をテーマにしたもので、重曹などを素材にしている。九州芸文館にてレジデンスの記録展をおこなう。
☞レジデンス記録展 12月3日(土)~25日(日) 九州芸文館

1986 福岡県出身、福岡県在住
2009 多摩美術大学美術学部彫刻学科 卒業

個展 ※抜粋

2016 「Water and where there is Water」(ホントアートセンター, 釜山 韓国)
2015 「二つの生活のための習作」(art space tetra, 福岡)
2014 「どんな残酷な想像よりも残酷なこと」(art space tetra, 福岡)

グループ展 ※抜粋

2016 「行雲流水 青木野枝+古賀義浩」(Operation Table, 福岡)
2014 「ネガティブ・アフター・イメージ」(アキバタマビ21/アーツ千代田3331, 東京)
2014 「直観」のジオラマ (福岡市美術館, 福岡)

レジデンスプログラム ※抜粋

2016 (ホントアートセンター, 釜山 韓国)
2014 「原始感覚芸術祭~水のうたがき~」(木崎湖周辺, 長野)
2013 「Espace des art sans Frontières」(パリ フランス)

http://www.yoshihiro-koga.com/

同時開催事業 Other projects in Kyushu Geibun-kan and Chikugo city

ちくごアートファーム計画2016~筑後の自然と創造力
アートで地球と遊ぶ: 木村崇人展 (九州芸文館)
2016年12月10日(土)~2017年2月19日(日)
http://www.kyushu-geibun.jp/

Chikugo Art Farm Project 2016 Nature and Creativity of
Chikugo "Playing with Earth in Art, KIMURA Takahito
Exhibition"
December 10 (Sat.) 2016 to February 19 (Sun.) 2017

羽犬塚プロジェクト (宿泊施設「MEIJKAN」、筑後市)
2016年12月頃予定
アーティスト: 古賀 義浩、瀬戸口 朗子、田中 千智、平川 渚
キュレーター: 原田 真紀
https://www.facebook.com/hainuzukameijikan/

Hainuzuka Project at the MEIJKAN (Art hotel project)
December 2016
KOGA Yoshihiro, SETOGUCHI Akiko, TANAKA Chisato, HIRAKAWA Nagisa.
Curator HARADA Maki

九州芸文館 筑後広域公園芸術文化交流施設 九州芸文館
KYUSHU GEIBUN-KAN 福岡県筑後市大字津島1131

[JR] 九州新幹線筑後船小屋駅下車 (徒歩1分)
JR鹿児島本線筑後船小屋駅下車 (徒歩1分)
[バス] 西鉄筑後船小屋駅前バス停 (徒歩1分) 50番 (船小屋・羽犬塚・高良台・久留米方面)
九州自動車道八女インター下車 (インターから約10分) / みやま柳川インター下車 (インターから約15分)
駐車場あり: 総収容台数103台 (車椅子用スペース3台含む) / 2時間無料 (以降1時間毎に100円)
駐車場営業時間 8:30 ~ 21:30 (休館日は利用不可)

